



南中だより

教育目標 愛 勉学 自主性 健康

令和4年5月11日

東久留米市立南中学校

校長 小川 高弘

「佐々木朗希投手の完全試合から」

校長 小川 高弘

3年ぶりに、緊急事態宣言もまん延防止等重点措置も発令されていない、制限のない5月の連休でした。塾や家族での外出、3年生の最後の大会を目前にした運動部の活動もあったことでしょう。テレビのニュースで流れる観光地の映像からは、コロナ禍前の人出を思い出されました。次は、連休での人の流れが、今後の感染者数にどう表れてくるのか心配です。南中では、4月に感染の広がりがありました、その後の感染拡大は見られず、5月に入り落ち着いた状況です。東京都においても、第6波は下がりきらずに、感染者数が再び上昇する心配があります。家庭内感染は、なかなか防げないので、まずは家庭内に持ち込まないことを徹底することが大事です。毎日の健康観察と早めの休養に、ご協力をお願いいたします。

4月に全校生徒が集まる機会は作らなかったため、5月2日に生徒会認証式を行い、今年度初めて全校生徒が体育館に集合しました。全員マスクは着用していましたが、約15分間、不要な会話はなく、静かに話を聴く態度は今年も引き継がれていると感じました。5月9日には全校朝礼を行い、私も今年度初めて全校生徒の前で、日本のプロ野球、千葉ロッテマリンズの佐々木朗希投手の話をしました。

佐々木投手は、4月10日の試合で、プロ野球史上16人目、最年少で完全試合を達成しました。さらに驚いたことに、その次の登板でも、8回まで走者を一人も出さない投球を続けていましたが、井口監督はそこで佐々木投手を交代させました。インタビューで「ファンは2試合連続パーフェクトを見たかったでしょうが、我々も見たかった。ただ、まだローテーション 1年目の選手です。大切な才能を預かる“親”として無理はさせられません。朗希なら、あと2、3回は完全試合をやってくれると思います。」と語っていました。佐々木投手は、岩手県立大船渡高校時代に、球速163kmの球を投げ、評価が高まりました。3年生の夏、岩手県大会決勝で、監督が佐々木投手の故障を心配し、登板を回避した時にも、大きな議論となりました。また、プロ1年目には、球団は体づくりを重視し、公式戦には登板させなかった話も有名です。中学生は、来週の間期考査や部活動の大会や発表会など、目の前の結果を求めることばかりです。もちろん、やるからには、成果や結果を出すことを望むことは間違いではありませんし、結果に一喜一憂する気持ちもわかります。しかし、場面によっては、無理をさせないのが、私たち教員や保護者の役目だと思います。大人が目の前の結果を求めてしまうことも多くありますが、目の前の結果だけを見ずに、将来を見据えた活動も一緒に考え、応援していかなければいけないと考えさせられました。



お世話になりました。

5月2日（金）午後、離任式を行いました。校務で欠席の方もいらっしゃいましたが、3名の先生（岩崎郁恵先生、小出由佳里先生、林健太郎先生）が来てくださりました。それぞれの先生に対して、お世話になった生徒からお別れの言葉と花束を贈りました。式の最後には代表生徒による南中学校校歌が贈られ、先生方の心に南中学校での良き思い出として残ったのではないのでしょうか。新しい学校でもご活躍ください。



新入生歓迎会

3年生の学年閉鎖によって延期されていましたが、新入生歓迎会が、4月22日（金）に行われました。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、今回の歓迎会は1年生と2，3年生の代表生徒のみの参加となりましたが、専門委員会の説明や部活動の紹介など、1年生に活動の魅力が伝わるように説明してくれました。



入学式ではCDでしか聞くことができなかった南中学校校歌も、合唱部や生徒会役員、旧中央委員会の生徒が合唱団を結成して素晴らしい歌声を響かせてくれました。

1年生が南中学校の一員として迎えられ、これから委員会活動や部活動など、3学年揃った活動がスタートしていきます。より良い学校生活を送っていきましょう。

運動会保護者参観について

2年続けて、感染症対策のため保護者の参観をご遠慮いただいていたのですが、今年度の6月4日の運動会では、感染対策を徹底した上で、保護者に参観していただこうと考えています。各家庭からの人数は生徒1名につき1名の参観に制限させていただき、体育館側を保護者エリアとして、体育館を保護者控室とします。お子様が出場する時だけ校庭に出て見学していただきます。保護者入口はプール門のみとし、校舎前と正門側は、保護者の立ち入りは禁止させていただきます。

今後の感染状況で見直すこともあるかもしれませんが、感染予防をしながら学年を超えた生徒の活動を少しでも充実させるという趣旨をご理解ください。